



平成21年4月30日(木)午前5時(日本時間)、新型インフルエンザについて、世界保健機関(WHO)から「フェーズ5」(継続的に人から人への感染が増加している状態)が宣言されました。

新型インフルエンザの発生国が拡大しています。大流行から自分や家族を守るためには、正しい知識を理解しておくことが大切です。

今回は、「新型インフルエンザのQ&A」をお届けします。

Q2 新型インフルエンザに感染したらどんな症状が出るの?

A2 発熱、倦怠感、食欲不振、咳など、通常のインフルエンザと同じ症状が出ます。また、鼻水、のどの痛み、吐き気、嘔吐や下痢などの症状を訴える患者もいます。

Q1 新型インフルエンザとは?

A1 動物のインフルエンザウイルスが人に感染し、人の体内で増殖できるように変化した後、人から人へと感染する新型インフルエンザウイルスによって発症するインフルエンザです。

現在、ほとんどの人が新型インフルエンザウイルスに対する免疫を持たないため、簡単に感染しやすく、世界的大流行につながる恐れがあると警戒されています。今回は豚インフルエンザウイルスの感染が広がり、日本政府は新型インフルエンザと認定しました。

発熱や咳、体がだるいなど、冬季に流行するインフルエンザと似た症状があったら・・・

まずは電話相談!

0857 - 22 - 5100

鳥取保健所(発熱相談センター)

☆すぐに医療機関にかかるのではなく、まずは発熱相談センターへ電話をかけましょう。

Q6 感染した場合、治療する必要がある?

A6 感染症法では、国内で感染していることが確認された場合、義務づけられるの? 症状等から新型インフルエンザに感染していると疑われる場合は、遺伝子検査等を行うことにより、確定診断をすることができます。

Q5 通常のインフルエンザと見分けるとは可能?

A5 症状は類似しており、見分けることは困難ですが、流行地への渡航歴・感染した豚との濃厚接触・感染者との接触歴が参考になります。

症状等から新型インフルエンザに感染していると疑われる場合は、遺伝子検査等を行うことにより、確定診断をすることができます。

Q7 飲食物・生活必需品は何日分準備したらいい?

A7 世界的大流行に備えて、2週間程度準備しておくことが望ましいです。

予防に心がけながら、正しい情報に基づいた冷静な対応をお願いします。

3月号からシリーズでお知らせしてきました新型インフルエンザ。今後も新型インフルエンザの流行の状況を確認しながらお知らせしていきたいと思っております。

その他、聞いてみたいこと、希望・要望などございましたら福祉課までお問い合わせください。

問合せ先
保健センター福祉課
☎75-4101

シリーズ 新型インフルエンザ



Q3 新型インフルエンザの感染はどのように広がるの?

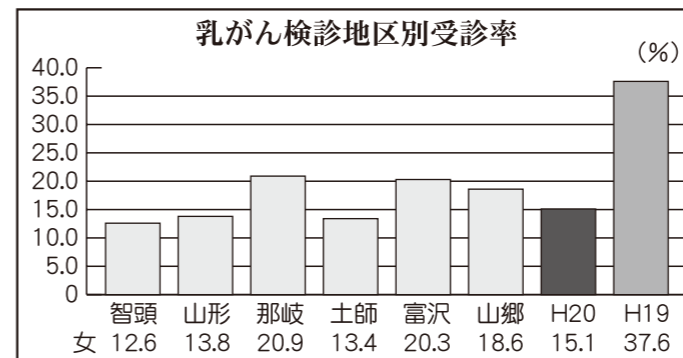
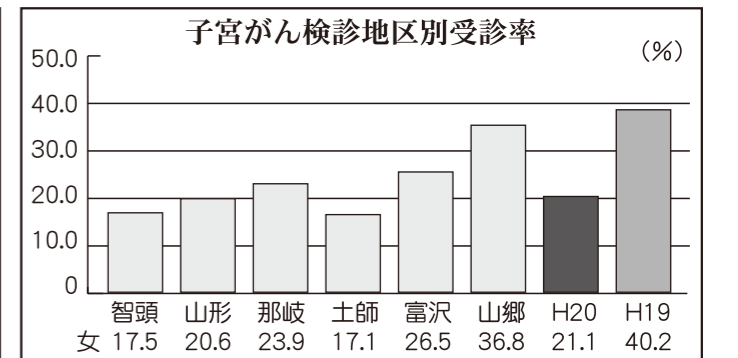
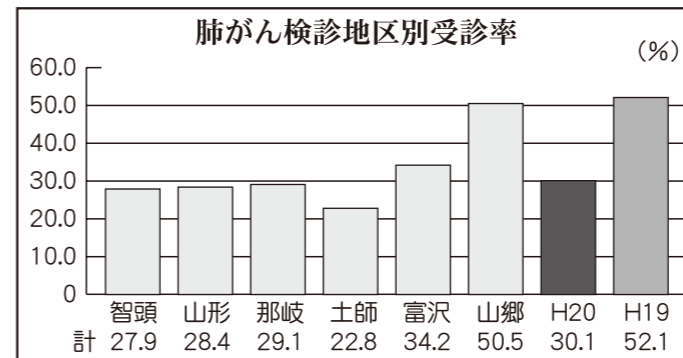
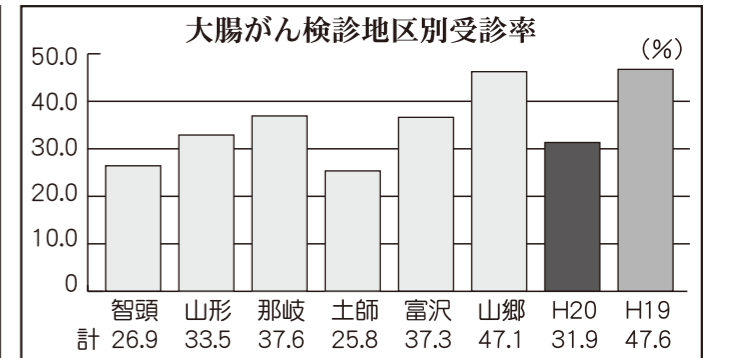
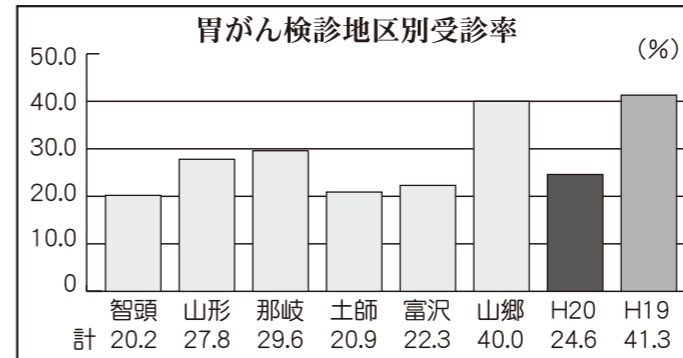
A3 通常のインフルエンザと同様に咳やくしゃみによる飛沫感染、もしくは接触することによる接触感染と考えられています。

入院して治療を受けること、また、感染している可能性が高い同居者等やその濃厚接触者は、外出自粛を要請され、保健所へ健康状態を報告することが定められています。

自分の健康は自分で守る!!

～平成20年度各種がん検診地区別受診率比較～

平成20年度の検診結果を地区毎にお知らせします。昨年度は、基本健診が特定健診になり、健診の受け方がなかなか浸透せず受診率が大変低い結果となりました。がん検診の受診方法には大きな変更はなかったのですが、例年に比べると受診する人が減ってしまいました。今年度は多くのみなさんが特定健診、がん検診ともに受診し、「自分の健康は自分で守る!!」ことを実行しましょう。



※受診率とは・・・受診者数÷対象者数×100で、計算したものです。対象者数は、平成20年度のがん検診受診希望調査で、「町の検診を受診する」と申し込みした人と「未回答」の人数を足し合わせた人数としています。「職場や個人で受ける等」と理由を回答した人は町の検診対象者数から除いています。

検診の種類によって多少異なりますが、他の地区と比べると山郷地区の受診率がとても高いことがわかります。しかし、この受診率はまだまだ高いとはいえません。県では受診率50%をめざしています。町もそれに向けて町全体の受診率が50%を超えるよう、受診勧奨にいっそう力を入れていきたいと考えています。「自分は健康だから検診は必要ない」「忙しいから受ける暇がない」などと言わずに、年に1回は是非検診を受けましょう!!

＜がん検診精密検査受診者について＞

がん検診の結果、精密検査が必要であるにもかかわらず、検査を受けない人がいます。早期発見・早期治療のためにも必ず詳しい検査を受けましょう。

がん検診の種類	要精密検査者数	精密検査受診者数	精密受診率	がん発見者数
胃がん	67	63	94.0	3
大腸がん	99	78	78.8	1
肺がん	51	43	84.3	1
子宮がん	2	2	100.0	1
乳がん	9	7	77.8	0

(平成21. 4. 30現在)

検診に関する問い合わせ先 保健センター福祉課 ☎75-4101